

① 「ピストルが鳴ったら買い」

米国株式は、米の対ロシア制裁が「厳しいものにならなかった」こともあり大きく反転上昇。

「ピストルが鳴ったら買い」の格言通りとなっています。

ただこれはあくまでも短期的な買戻し。

NASDAQ は1日で上下900ポイントも動いています。

これは、日経平均が1日で上下1800円ほど動くのと同じボラティリティの高さ。

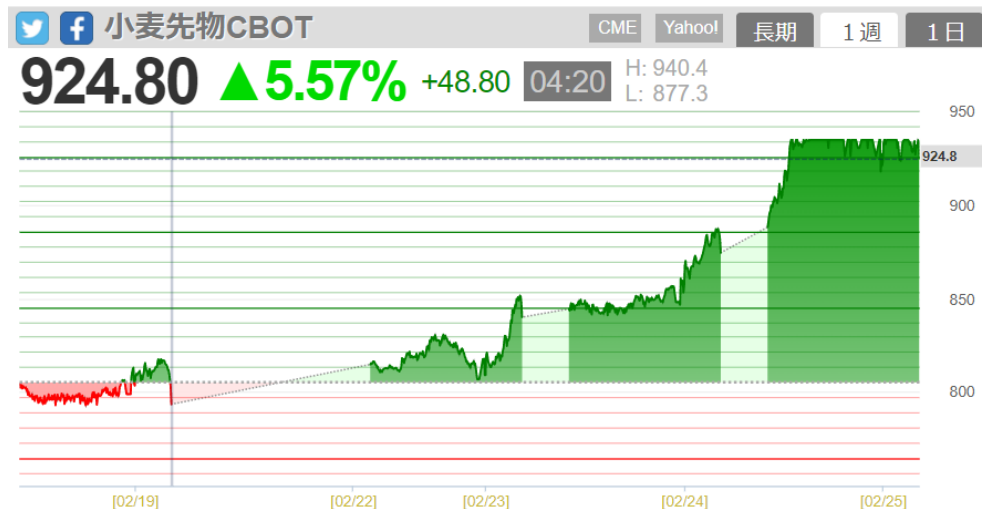
相場末期特有の動きです。

| | | | | | | | |
|-----------|---|---|-----------|--------|---------|----------------------------|-------|
| NYダウ |  |  | 33,223.83 | ▲0.28% | +92.07 | H:33,269.34 L:32,272.64 | 02/24 |
| NASDAQ |  |  | 13,473.58 | ▲3.34% | +436.10 | H:13,486.11 L:12,587.88 | 02/24 |
| NASDAQ100 | |  | 13,974.67 | ▲3.44% | +465.24 | H:13,989.10 L:13,065.44 | 02/24 |
| S&P500 | |  | 4,288.66 | ▲1.49% | +63.16 | H:4,294.73 L:4,114.65 | 02/24 |



② 原油 & 金

WTI原油は一時100ドルを突破するも、「ピストルが鳴った」ため大きく押し戻されました。ドル建て金価格も同様に、一時1976ドルまであって1900ドル割れまで下がってきています。一方で、ウクライナが世界的な生産地であるため、供給減少を懸念して小麦は高値を維持しています。



③ ユーロ

一時、127 円台までありましたが、大きく円安に戻りました。

やはり、127~128 円は買いたと思います。



④ ロシア株式

ロシア RTS 指数は 742 ポイントまで下落。

1 日で▲39%となっています。

数十兆円単位での時価総額の減少。

株式投資というのは、「その国や企業を応援する」ことが大きな目的の一つですから、いかに割安だとは言え今は買いたくないですね。



⑤ マザーズ指数

652 ▲4.2%。

マザーズ指数連動ETFを、

「戦略と戦術」に基づいて

平均買いコスト 600ポイント前後で

ゆっくり着実に買い始めて

いただければと思います。

やっぱり、正々堂々と投資をし、リターンを得たいものです①。



⑥ 円建て金

金ETF(1540)は、6805円 +95円と最高値を更新してきました。

やっぱり、正々堂々と投資をし、リターンを得たいものです②。

